

国土交通省

道令第133号

19.5.31

道路特定財源の見直しに関する意見書

結城市は、「みどりと歴史のいきいき文化創造都市・結城」を将来都市像に、「協働のまちづくり」を市政運営の重点施策として掲げ、特色ある魅力的なまちづくりに取り組んでいるところです。

主な事業としては、良好な住環境整備のための「結城南部地区土地区画整理事業」及び「結城北西部地区土地区画整理事業」、商業を中心とする市街地の活性化のための「中心市街地活性化事業」、就業の場の確保のための「企業立地推進事業」などがあり、人口減少の抑制と定住の促進に向けた事業を推進しています。

しかしながら、市民生活の基本である道路基盤の整備は、まだ不十分であり、道路整備に対する市民の要望は年々増加傾向にあります。

特に、首都圏及び近隣主要都市とのアクセスの向上を目的とした道路の整備、観光・都市間交流を推進する道路、まちづくりをリードする道路といった政策的な道路整備については、財源上の問題から大幅に遅れているのが現状です。

近年、少子高齢化の進展や三位一体改革推進により、地方においては都市基盤整備のための財源確保に大変苦慮しております。

地域間の交流や連携を支え、地方都市を活性化させるためには、道路整備が喫緊の課題であることから、道路特定財源の見直しについては、一般財源化することなく、従来どおり道路整備に充てられますよう強く要望いたします。

記

1 今後整備予定の主たる路線

①市道 0115 号線（結城南部中央幹線第3計画区）の整備

首都圏中央連絡自動車道とのアクセス向上と県道結城野田線のバイパス機能を持つ道路。計画延長 2.4km 幅員 13m 事業費：810,000 千円

②市道 0101 号線整備

新4号国道、栃木県小山市及び茨城県筑西市との地域間交流を促進する機能を持つ道路。計画延長 500m 幅員 12m 事業費：272,000 千円

2 県に整備を要望する路線

① 県道矢畑・横倉新田線バイパス整備

本県道のバイパス機能はもとより、結城第1工業団地と新4号国道のアクセスが改善され、工業団地のポテンシャルが向上し、企業立地に寄与する。

計画延長 1.62km 幅員 11m

② 筑西広域幹線道路の整備

北関東自動車道と国道4号線を結ぶ本路線は、当市南部地域の広域交流を推進する。

③ 都市計画道路3・4・18号線（鹿窪・根本原線）の整備

旧国道50号線及びJR水戸線と交差する県道結城・坂東線、近接市道の混雑を解消し市南北の交流を推進する道路。計画延長 5.23km 幅員 16m

国土交通省道路局長 様

平成19年5月8日

茨城県結城市長 小 西 栄 造

